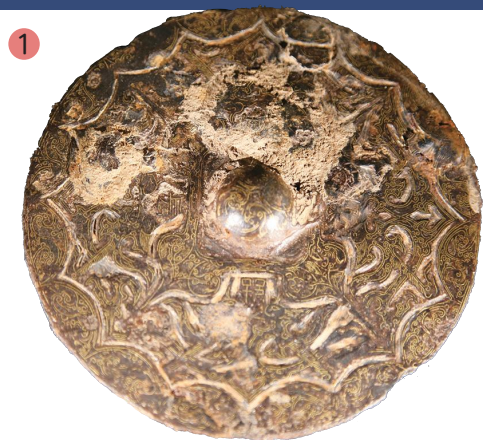


行こう！ 古代鏡展示館

第2展示室 オープン！

平成 29 年 4 月に県立考古博物館加西分館「古代鏡展示館」が開設。(株)千石の千石唯司社長から寄贈された約 500 点の作品のうち、約 180 点を常時展示しています。
この度、第 2 展示室がオープンし、さらにスケールアップした同施設の魅力をお届けします。

コレはハズせない！第 1・2 展示室の見どころ



きんどうがんはちほうてつきょう
金象嵌八鳳鉄鏡

三国時代

鉄の鏡であり、日本でもわずしか見つかっていない。保存状態も良く、青銅よりも高価な鏡です。



りよくしょうせきぞうがんきよしえんきょう
緑松石象嵌鋸歯縁鏡

二里頭文化

唯一鏡の「表」を展示している。3700 年前の中国最古の鏡です。ここでしか見ることのできない大変貴重な作品です。

		紀元前						一	二	三世紀	四	五	六	七	八	九	
中国	一里頭文化（夏）	殷	周（西周）	周（東周）		秦	前漢	新	後漢	三國時代 魏蜀	西晉	東晉	南北朝	隋	唐		
				春秋	戦国							五胡十六国					
日本	縄文時代			弥生時代						古墳時代			飛鳥時代		奈良	平安	

収蔵するコレクションは
500 点余りを数える

第 2 展示室が完成したことにより、展示作品数も約 2 倍になりました。既存展示室(第 1 展示室)も一新し、鏡以外の青銅器の逸品もご覧いただけます。

古代鏡展示館

☎ 0790-47-2212

所 加西市豊倉町飯森 1282-1

時 9:00 ~ 17:00

休 水曜日(祝日の場合は翌平日)

¥ 100 円(高校生以下無料)

※別途フラワーセンター入園料(一般 500 円など)が必要

第 1 展示室



第 2 展示室

3

らでんそうおうむもんはつかきょう
螺鈿双鸚鵡紋八花鏡

唐時代

薄くカットしたヤコウガイと琥珀を用い縁起の良い鳥であるオウムを 2 羽、そして花や葉の文様を表現しています。オウムや花は細い線彫りで羽根や花弁を表現し、繊細な技術が感じられる鏡です。

4

きんりゅうしゅぎよくぞうがんほうそうげもんろくりょうきょう
金粒珠玉象嵌宝相華紋六稜鏡

唐時代

美しさと高度な技術が凝縮された鏡。金を粒にして一面に敷きつめられています。皇帝に近い人物が使用していたと考えています。



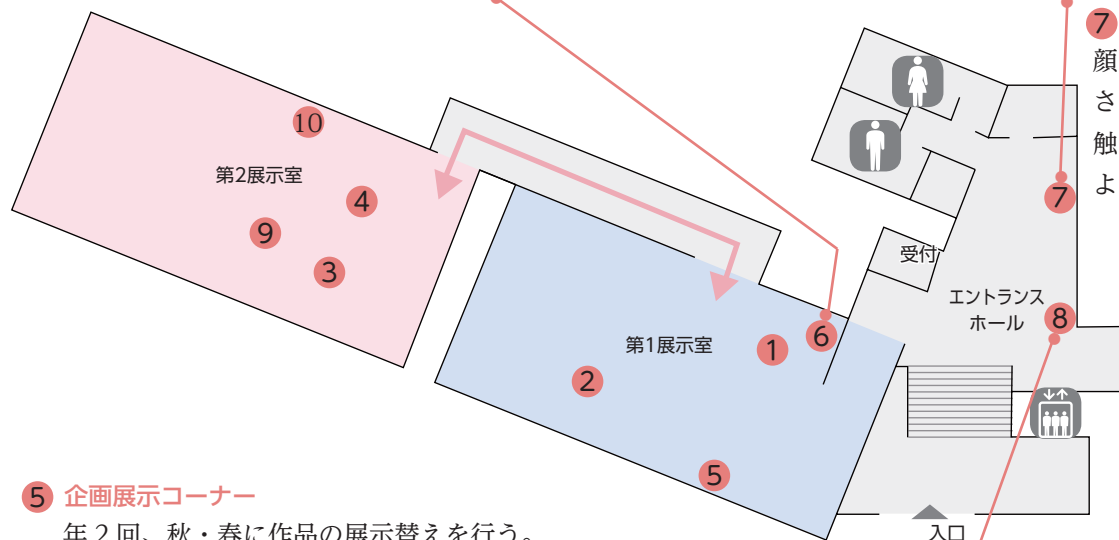
6 画像検索コーナー

拡大や回転ができ、3D 画像を検索できる。細かな紋様など、当時の技術をご覧いただける。



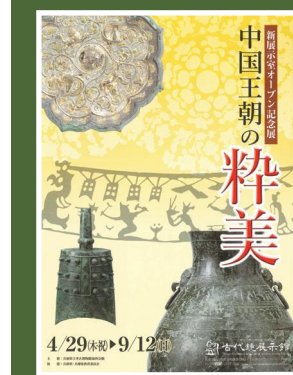
7 体験コーナー

顔は映るの？重さは？実際に見て触って体験してみよう！



5 企画展示コーナー

年 2 回、秋・春に作品の展示替えを行う。



新展示室オープン記念展
中国王朝の粹美
9 月 12 日(日)まで開催！



8 映像コーナー

コレクションの見どころや銅鏡の作り方などご覧いただける。

次回企画展示情報

～象嵌象(かたど)る／嵌(は)める

9 月 18 日(土)～令和 4 年 3 月 13 日(日)

ピックアップ
古代鏡展示館

第 1・第 2 展示室で特に見てほしい鏡の場所および各コーナーを紹介します。